

感動のステージ！

健太康太スクールコンサート



荒海中でのコンサートの様子（10月19日）

弘済会福島支部主催による「健太康太スクールコンサート」は、2014（平成26）年度からスタートしました。新型コロナウイルス感染防止のために2020年度は中止になったものの、今年度で9年目を迎えました。延べで70回、計80校を超える学校で実施し、各校で感動のステージが繰り広げられました。

（届けられた感想より）

私は、今日の健太・康太さんのコンサートで、夢や希望を持つことは大切ということがわかりました。そして、歌った曲の中ですごく心に残ったのは、「糸」でした。なぜかという、健太・康太さんが説明していた「縦の糸、横の糸がどんなに長くても、交わるのは1回だけ」という言葉にグッときたからです。歌う健太・康太さんの声がきれいだったことも心に残っています。ほかにも、目をつむって歌ったという曲もきれいでした。その曲では、「逃げたくてもあきらめないで歌っていた」とあって、びっくりしました。私も、健太・康太さんみたいに、あきらめずにがんばろうと思いました。（小学校・児童）

今回で3度目になりますが、何度聴いても心打たれます。歌もメッセージもたましいが込められているので、おとなにも子どもにも（1年生にも）伝わるのだと思います。そして、いつも思います。無駄な経験はない!!と。その経験をどう受け止めるのか、ぜひ「前を向いて歩こう」が、すべての人の心に届くように歌い続けてほしいと思います。応援しています。

（小学校・教諭）